

宇宙開発の現状報告

(平成 19 年 4 月 4 日(水) ~ 平成 19 年 4 月 10 日(火))

平成 19 年 4 月 11 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

4 月 5 日(木)

- 第 2 回宇宙開発委員会安全部会
【松尾委員長、青江委員、池上委員、森尾委員】

宇宙開発に関する海外の動向

4 月 3 日(火)

- ESA と NASA、ミッション運用相互支援で協力協定締結
【欧、米】

3 月 21 日(現地時間)、欧州宇宙機関(ESA)と米国航空宇宙局(NASA)は、衛星追跡・ミッション運用分野での両機関間の長期協力協定「Network and operations Cross-support Agreement」を締結した。同協定により、地上追跡局の共同利用が可能となり、各ミッション用地上局が気象条件や地震等利用できない状況においても、迅速なバックアップ体制が提供される。特に衛星の打上げ・軌道投入・マヌーバなどの重要なミッションフェーズでの支援が行われる予定。

4 月 4 日(水)

- ベトナム、宇宙技術研究所を開所
【越】
4 月 3 日(現地時間)、ベトナム科学技術院(VAST)傘下機関として、ベトナム宇宙技術研究所が設立され、ハノイで開所式が行われた。同研究所は、「宇宙技術の研究・応用に関する戦略」(2006 年 6 月 VAST が発表)において設立が協議されていたもので、天然資源管理と自然災害防止の為の環境モニタリングを行う小型地球観測衛星の開発、宇宙技術の応用等を進めていくとしている。

4 月 8 日(日)

- ソユーズ、ISS 第 15 次長期滞在員の打上げ成功
【露】
4 月 7 日(土)17 時 31 分(世界標準時、以下同じ)、ロシア連邦宇宙局(FSA)はバイコヌール宇宙基地からソユーズロケットによるソユーズ宇宙船の打上げに成功した。同宇宙船には国際宇宙ステーション(ISS)の第 15 次長期滞在員 2 名及び宇宙旅行者のチャールズ・シモニー氏が搭乗しており、同宇宙船は 9 日(月)19 時 10 分、ISS とドッキングした。第 15 次長期滞在員は約 6 ヶ月間 ISS に滞在し、シモニー氏は第 14 次長期滞在員とともに 20 日(金)に帰還する予定。

4 月 9 日(月)

- カザフスタン、航空宇宙委員会を廃止し国立宇宙機関を設立
【カザフスタン】
報道によると、3 月 27 日(現地時間)、カザフスタンのナザルバエフ大統領は、カザフスタン共和国国立宇宙機関の設立に関する大統領令に署名したとのこと。同大統領令の下、教育科学省航空宇宙委員会は廃止され、同国政府の独立組織としてカザフスタン国立宇宙機関が設立された。